

令和5年竹田市教育委員会第7回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年7月5日（水）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1番委員 甲高 幸一
2番委員 佐藤 恵
3番委員（教育長職務代理者） 吉野 聖子
4番委員 岡 茂樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 野仲 芳尊
学校教育課長 渡邊 幸美
生涯学習課長 佐藤 俊郎
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 甲斐 正寿
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐 羽田野京子
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第6回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
議題第38号 竹田市教育委員会委員の席次について
議題第39号 竹田市立小中学校個人情報保護規程の廃止について
(4) 報告事項
報告第5号 令和5年度竹田市教育費予算（6月補正）について
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(7) 連絡事項
(1) 7月幼・小・中行事予定表
(2) 7月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

- 野仲教育総務課長 委員の出席状況でございます。教育長及び委員4名出席、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから第7回定例会を開会します。第6回定例会の会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 教育長報告を申し上げます。6月1日、第1回久住高原農業高校学校運営協議会。2日、第71回大分県高等学校総合体育大会開会式。3日、第71回友情の蛍おくり記念式典。5日、教育委員会第6回定例会。6日、竹田市立学校職員安全衛生委員会。8日、第57回ほたるおくり。12日、議会第2回定例会、及び竹田市中体連球技・剣道大会。13日、県議会の文教警察委員会所管事務調査、中体連の2日目、及び直入子どもまつり実行委員会。14日、竹田地区教科用図書採択協議会。15日、直入中・直入小保護者合同説明会。16日、議会本会議一般質問。17日、竹田高校体験セミナー。18日、市民球技大会、及び瀧廉太郎会総会。19日、議会一般質問、及びスポーツ功労賞授与式。21日、中体連陸上競技大会。22日、議会本会議、竹田サイコーproject第1弾「タケタカタロー」、及びナイター陸上ドリームゲームス in 萩第1回実行委員会。23日、南部小架け橋プログラム公開授業。26日、第4回校長・所長会議。29日、竹田市放課後子ども教室コーディネーター会議。30日、議会本会議、定例課長会議、及び中学生国際交流事業推進委員会。7月1日、第121回忌・没後120年瀧廉太郎府内追悼祭。3日、竹田市交通安全対策協議会総会。4日、竹田市立学校職員労働安全衛生推進委員会。そして、本日5日、教育委員会第7回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。
- はい、吉野委員、どうぞ。
- 吉野委員 6月23日、南部小架け橋プログラム公開授業のことなんですけど、授業を見られた方はどういう方だったのかとか、その授業の後に意見交換であるとか検討の会が行われたのであれば、その内容を少し教えていただきたいです。
- 志賀教育長 学校教育課長。
- 渡邊学校教育課長 はい。ありがとうございます。授業の方は、一年生が生活科の授業を見せてくださいました。参観者は市内の一年生の担任の先生、それから校長先生方、そして、竹田市内の保育所や、こども園、元気園等の先生方もお見えになってくださいました。あと、県内の他市の教育委員会の指導主事さんも何名かお見え

になってくださいました。授業参観後のグループでの意見交換だとか、研修の中では、今後、竹田南部幼稚園と南部小学校の架け橋の取り組みをまずは市内全部のそれぞれの校区のブロックでモデルにしてやっていこうということで、それぞれのブロックに分かれて、自分の学校だとか、園で実施した時にどんな子どもの姿が育めるかなあとか、どんな資質能力がこれをもとにつけられるかなってという意見交換をしたことと、あと、5歳までに、こんな子どもの姿、目指す子どもの姿が、小学校に上がった時にこんな資質能力に繋がっていくんだなってというような、それぞれの気づき、それぞれの気づいたことの学びを交換する場もあって、参加者の方々も自分の実践等を振り返ることと併せて、子どもたちを見取る時の視点っていうのも、再度確認できた会になったと感じています。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。その他ありますか。
それでは次に移ります。本日の審議事項は2件です。はじめに、議題第38号竹田市教育委員会委員の席次についてです。それでは、教育総務課長をお願いします。

野仲教育総務課長

議題第38号、竹田市教育委員会委員の席次について、提案理由の説明をいたします。この案は、賀籠六前委員の任期満了に伴い、先般、5月10日の議会臨時会において、岡茂樹委員の委員就任にかかる議案の同意議決がなされました。岡委員が新たに就任されたことにより、竹田市教育委員会会議規則第2条の規定に基づき、委員の席次についてお諮りするものであります。
なお、席次の決定方法につきましては、これまでの慣例により、席次改正の必要が生じた場合は、その都度、席次番号を一つずつ繰り上げておりますので、今回もこの例に倣いまして、次のとおり提案いたします。委員席次1番、「佐藤恵委員」、2番「吉野聖子委員」、3番「岡茂樹委員」、4番「甲高幸一委員」。以上であります。

志賀教育長

説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等ありませんか。
ないようですので、議題第38号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

承認されました。ただいま、新たな席次が指定されましたが、次回の定例会から適用することとして、本日はこのまま着席している席次にてお願いします。
次に、議題第39号、竹田市立小中学校個人情報保護規程の廃止についてです。それでは学校教育課長をお願いします。

渡邊学校教育課長

3ページをご覧ください。議題第39号、竹田市立小中学校個人情報保護規程の廃止についてお願いいたします。竹田市立小中学校個人情報保護規程の廃止について、個人情報の保護に関する法律が改正され、この法律が直接適用されるようになりました。これに伴い竹田市立小中学校個人情報保護規程を廃止いたします。学校は、「個人情報の保護に関する法律」「竹田市個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づき、指導および事務を行いません。以上です。

志賀教育長

はい。説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等ありませんか。

ないようでしたら、議題第 39 号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

承認されました。次に、報告事項です。報告第 5 号、令和 5 年度竹田市教育費予算 6 月補正について、はじめに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長お願いします。

野仲教育総務課長

報告第 5 号、令和 5 年度教育費予算の 6 月補正について、先般、6 月 30 日に議会の議決を得ております。資料の 2 ページ、まず教育総務課にかかる概要でございます。

歳出のみ 902 千円の増額補正ですが、要求どおり確定いたしました。内容は、毎年計画的に更新しているスクールバス 1 台を当初予算に計上しておりますが、スタッドレスタイヤほか、部品高騰に伴って車体本体も価格が上がっており、当初予算から不足が見込まれる額を、今回追加で補正要求したものであります。教育総務課関係は以上であります。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課です。資料の 3 ページご覧ください。まず、歳入ですが、文化庁の部活動の地域移行に向けた実証事業にかかる国庫補助金 90 万円、県補助金 10 万円と記載している通りです。

次に、歳出です。10 款 2 項 2 目、5 月の定例会でお伝えした菅生小学校の臨時講師配置にかかる補正が 237 万 8 千円。10 款 1 項 1 目の文化庁の部活動の地域移行に向けた実証事業に係る指導員の報酬、備品等 170 万 6 千円。合計 408 万 4 千円、この 2 つについては承認されました。10 款 4 項 2 目の幼稚園の親子バス遠足の場所確定後の不足分の要求に関しては、0 査定でした。幼稚園のバス遠足の不足分については、計画された場所に行けるよう、当初予算の範囲で対応することを財政課と協議済みです。以上です。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。4 ページをお開きください。5 月の委員会時にご説明申し上げた要求内容により、6 月議会で議決いただいております。歳入は 16 款 2 項 7 目教育費県補助金、科目名称ですと、学校との連携・協働による「地域教育力」向上事業補助金となります。この補助金は、歳出の 10 款 5 項 1 目、新設された、1534 地域学校協働活動推進事業費 295 千円の 3 分の 2 の額を補助金としていただくものです。歳出では、先ほどの 10 款 5 項 1 目新設された、事業番号 1534 地域学校協働活動推進事業費で 295 千円が議決されました。この事業は、県のモデル事業として令和 5 年度に 5 市町が対象となっていて竹田市も事業を行うものです。対象は竹田南部中学校と南部小学校の地域学校協働活動推進員の活動に対する報奨金等です。次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 350 公民館・分館管理運営費で、当初予算の工事請負費の分館 Wi-Fi 整備工事で消費税分の計上漏れが判明したため、528 千円増額要求して議決されました。次に、10 款 5 項 3 目、事業番号 354 公民館運営事業費・荻支所で、当初予算の工事請負費：荻公民館体育館庇先補修工事で工事方法の見直し等で、77 千円増額要求して議決されまし

た。以上です。

志賀教育長

甲斐給食調理所長。

甲斐給食調理場長

資料の 5 ページをお開きください。歳入につきましては、要求通り変更はございません。歳出につきましては、10 款 6 項 3 目の修繕料につきまして、ボイラー制御盤、それから公用車の修理代ということで、33 万 3000 円の増ということで、修正となっております。合計につきましては事業番号 316 の久住学校給食共同調理場、913 の中央学校給食共同調理場運営事業費の合計 2 億 1987 万円という形で修正されております。以上でございます。

志賀教育長

はい。4 課から教育費予算 6 月補正について説明がありました。全体を通して、質疑等ありませんか。
ないようですので、報告第 5 号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

はい。承認されました。協議事項はございません。連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

連絡事項(1)、7 月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の 2 ページをご覧ください。7 月 4 日・5 日の両日、緑ヶ丘中 2 年生の職場体験学習。本日 5 日、緑ヶ丘中 3 年生の租税教室。6 日、菅生小のものづくり体験、及び竹田中の避難訓練。7 日、直入小 2 年生の水辺の教室、緑ヶ丘中のサマーコンサート、及び南部幼稚園の七夕集会。12 日、竹田中 3 年生の租税教室。14 日、竹田幼稚園の夕涼み会。15 日、竹田中のミュージックフェスタ。20 日、1 学期終業式。21 日、この日から夏季休業となります。また 28 日まで大分県中学校総合体育大会。30 日、大分県吹奏楽コンクール。

続きまして、資料 3 ページ、教育委員会関係の 7 月日程(予定)表です。明日、7 月 6 日、地域学校協働推進委員会、文化財保護調査委員会、及び竹田市学校給食運営審議会。7 日、豊肥地区解放文化祭実行委員会。8 日、自然を愛する会岡城跡清掃ボランティア。11 日、校長・所長会議、及び教頭会議。13 日、この日から 20 日までドイツ訪問、市長を団長に教育長・学校教育課長も参加いたします。16 日、社会を明るくする運動竹田市民大会。20 日、1 学期終業式。24 日、岡の里名水マラソン大会第 1 回実行委員会。26 日、竹田市戦没者追悼式、竹田市学校保健会総会、及び岡城調査整備委員会。27 日、竹田市健康づくり推進協議会。28 日、定例課長会議。8 月 1 日、中学校英語授業力向上研修会。3 日から翌 4 日まで、九州地区市町村教育委員研修大会。

資料 1 ページにお戻りをいただきまして、(3)の今後の主な予定です。①ただいま申しあげました九州地区教育委員研修大会、8 月 3 日・4 日、佐賀市で行われます。出席委員はよろしく願いいたします。②教育委員会第 8 回定例会は、8 月 7 日(月) 15 時から、本庁議室での開催を予定しております。同じく第 9 回定例会は、9 月 5 日(火) 15 時、同じくこの会場での開催を予定しております。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

はい。質疑等ありませんか。

岡委員。

岡委員

勉強不足ですいません。7月6日にある地域学校協働推進委員会っていうのはどういふ方々の集まりになられるんでしょうか。

志賀教育長

生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。各学校に地域学校協働活動推進委員さんという方を、1名配置しています。先生のOBだったり、元保護者の方だったりに入ってもらってまして、学校と地域と繋がりのある学習をコーディネートしてもらってる方々です。

志賀教育長

はい。ちょっと補足します。以前各小中学校には、学校評議委員会があつて、それが今では学校運営協議会に変わっています。学校運営協議会の役割は、熟議と承認。要するに、学校教育目標や学校の教育活動について、共有して承認していくというのが学校運営協議会です。地域学校協働活動というのは、それと違って、実働する組織です。どういふ活動かという、学校の見守りであるとか、美化活動、授業の補助、学校が何か地域のまたは地域人材の力を借りたいとかいふときに協力する事業です。それを中心となつてお世話するのは、推進委員ということで、その方は学校運営協議会の委員と兼ねています。地域学校協働活動本部は、2022年度までに設置せよということでしたので、竹田市の場合には2021年度に各学校、または、中学校区の小中学校から委員を選出させていただいて、各学校の地域と関わる教育活動をふやしていく活動をしているものです。よろしいでしょうか。

そのほかないでしょうか。では各課からお願いしたいと思います。まず、野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

教育総務課から、先般、直入中・直入小両PTA主催による、直入中統合にかかる意見交換会の件をお知らせいたします。当日は、吉野委員も出席くださつておりました。ありがとうございました。

当日は、やはり反対の声の方が多く挙がりましたが、保護者からの主な意見をご紹介します。「学校を一度なくすと後戻りが出来ない。慎重に慎重を重ね、強行に進めるべきではない」、「竹田中の統合後のアンケートは、久住中・都野中の生徒に限定した結果を知りたい」。この質問には、久住中・都野中の生徒分を抽出していただきましたので、両校とも回答してくれた子ども達の全員が「学校生活は楽しい、どちらかと言えば楽しい」と100%の結果であると答弁しております。また、「地域の学校がなくなると、子育てがしにくい環境になる。地域住民の意見を聴く説明会を開いてほしい」、「推計表では12年後にまた単独クラスになる。そのときは、また統合をするのか」、「小規模の学校に魅力を感じている世帯もいることを考えてほしい」、「直入に移住したいという声を多く聴く。住むところを増やしてくれればその受け入れができる」といった意見。唯一、賛成の声としては、「親の立場から子育てがしにくいと言うが、子どもの立場に立てば、大きなコミュニティでは、問題が多くなるがそれを解決する考えが育っていく」との意見もありました。このほか、具体的な通学方法がイメージできないので、スクールバスの提案をしてほしいといった要望、また、サッカーなど現在ない部活動が増える可能性はあるかななどの声がありました。

保護者の要望にもありましたので、今後も保護者とのこうした場を設定して、

意見交換を重ねていきたいと考えております。教育総務課からは以上でございます。

志賀教育長

はい。渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課より3点お知らせいたします。1点目は、竹田高校体験セミナーについてです。今年度第1回目が6月17日(土)に開催され、市内の中学生33名が参加しました。高校の先生による英語と数学の授業が行われ、英語は、英文を「読み取る」ポイントについての授業を、数学は高校入試問題を使って「間違いがちなポイント」に視点を置いた授業を展開してくださいました。参加した生徒さんからは、・テストでどのように英文を読めばよいかわかった。・解けなかったところが、途中式も含めて説明して下さったので解けるようになった。等の感想をいただきました。7月1日の第2回目に関しては、警報が出ていたため、残念ながら中止となりましたが、今後も中学3年生を対象に5回、中学2年生を対象に2回を予定しています。

2点目は、「たけたん自習室」の開室についてです。「たけたん自習室」は、自主学習をすすめ、わからないところを質問できる機会と場を提供し、「できた、わかった」という自信につなげることができる。そんな学びに向かう児童生徒を増やしたいと考え、今年度も開室しています。中学生は6月24日(土)・25日(日)の2日間開室し、6名が参加し、大学生の講師とともに学習を行いました。また、小学生は6月25日(日)のみの開催でしたが、11名が参加し、宿題や自学に取り組み、たくさんの本に触れる時間となりました。夏休みも開設し、夏の友や作文等の学習の支援を行います。

3点目は、小学生を対象にした「サマーイングリッシュイベント」についてです。小学校という早い段階から英語でコミュニケーションをする機会を増やすことで、文化への理解と関心、学習の意欲を高めることを目的に行います。8月21日(月)13:30~16:30、竹田市のALTおよび豊後大野市等近隣のALTが指導者として参加して下さるので、多様な人々との関りを通して、自分理解や他者理解を深め、協働的な学びを通して自分の考えを広げる機会にもなります。秋には、大分の大学に來ている留学生との交流イベントも予定しています。これらの取組すべてについて、竹田市教育委員会はスクールバスで送迎を行います。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。生涯学習課からは、お手元にA4の紙1枚お配りしていますのでそれを参考に見てください。生涯学習課から4点です。1点目が、第47回大分合同新聞社旗争奪早朝夕暮れナイターソフトボール中央大会竹田市予選会についてです。期日が7月3日から、予備日を含んで14日までの予定ですが、3日が雨でできませんでしたが、昨日が初日ということで2試合しております。今日も試合をする予定で、今日が都野ソフトボールクラブさんと、恵良原チームさんの予定になっています。2点目です。スポーツ合宿受け入れです。竹田市は大分県スポーツ合宿誘致推進協議会に加盟し、県市町村競技団体、観光団体、民間企業等が一体となってスポーツ合宿やスポーツ大会等を誘致し、地域活性化の促進を図っています。1チーム目が、takagi北九州Water wave女子ソフトボール部24名が、7月2日から17日の16日間、主に竹田市直入野球場で合宿をしてい

ます。その期間中 7 月 11 日の火曜日、南部小学校 5.6 年生 56 名を対象にソフトボール教室をしてもらいます。2 チーム目が園田学園女子大学ソフトボール部 25 名です。7 月 15 日から 17 日。主に練習試合ということで、合宿をもらいます。3 点目、大分 B リングス少年野球教室についてです。7 月 29 日土曜日 11 時半から、竹田市総合運動公園竹田丸福多目的広場で、スポーツ少年団団員を対象に、野球教室を開催してもらいます。7 月 29 日と 30 日の 2 日間、14 時から、火の国サラマンダーズと竹田丸福スタジアムで公式戦が行われます。両日とも内川聖一選手が来る予定になっています。4 点目、第 30 回ナイター陸上 2023 ドリームゲームス in おぎについてです。日時が令和 5 年 8 月 5 日の土曜日。15 時 30 分受け付け開始、16 時 30 分開会式、荻小学校グラウンドで開催されます。以上です。

志賀教育長

はい。古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

はい。先ほどの連絡事項教育委員会の日程の方にもございました件です。自然を愛する会というアウトドアのお仲間で立ち上げたボランティアグループがございまして、災害の復興支援や、地域の貢献活動等に組み込んでいらっしゃる方々です。岡城の崖面にロープをつるして、そして除草作業等をしてくださる。それに来ていただくようになって、今回 5 年目、5 回目ということになりました。7 月 8 日今週の土曜日に、実施の予定でございます。九州内には登録会員が 5000 名ぐらいいらっしゃるようで、毎年 50 名位の方が来てくださるんですが、竹田にも数名の会員がいらっしゃるようで、今年からは、佐藤美樹議長が実行委員長というような形でこれに取り組んでくださるようになっております。天候の様子とかがよくわかりませんが、この清掃とですね、10 月に計画をします岡城清掃の日の市民清掃という年 2 回の構えで、市民や市外の方々の協力を得ながら、ともに岡城を守っていただければいいなというふうに思っております。以上です。

志賀教育長

はい。佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化課長

はい。歴史文化館です。企画展の開催についてお知らせさせていただきます。7 月 23 日（日）まで瀧廉太郎没後 120 年記念の企画展「廉太郎と大吉 ～憾の真実 2～」展を開催いたします。瀧廉太郎と、廉太郎が兄とも慕い廉太郎を支え続けた従兄の瀧大吉の生涯や業績等について、遺作となった「憾」をはじめ廉太郎自筆の楽譜や写真等、様々な資料で紹介しています。また、7 月 28 日（金）から竹田市のアートシーンの“今”を、竹田市民をはじめ多くの方々にお伝えする企画展「I am here」展の第 3 弾を開催します。竹田市はアーティストの移住を促進してきており、これまで多様なジャンルのアーティストが竹田市に暮らし、創作活動を続けています。そのような中から、今回は、中臣一さん（竹芸家）・前田亮二さん（染色作家）・森貴也さん（彫刻家）の作品をはじめ多岐にわたるアートの世界にゆっくりと浸っていただけるように企画いたしました。よろしく願いいたします。

志賀教育長

甲斐給食調理場長。

甲斐給食調理場長

はい。給食調理場でございます。前回の 6 回の定例会の際に、サフランへの給

食提供について検討中ということで一応関係課と検討中の旨をご報告いたしました。今回は、とりあえず調理場で調理した給食の提供の準備が整いましたので、配送については、なかなか配送便に載せることができないという難しい課題があるんですが、サフランの方から取りに来ていただくという形で、7月から給食を提供するようになりました。今、7月の3日と5日、本日の2回ほど、提供をしてるというような状況でございますが、11時30分に取りに来ていただいて、1時30分に返却していただくという形で、5食分を今提供しております。残滓の方はほとんど残っておりません。反応の方なんですけども、サフランのスクールソーシャルワーカーのお話では、保護者の方と面接をした際に、やはり保護者の負担がかなり減ってですね、非常に助かっているという良好というふうなお話をいただいております。それから調理場の方なんですけども、実際調理場の職員、それからわかばの調理員の方が、サフランについて、非常に今、どういふ状況かというのがだんだんわかってきたというか非常に関心を持って、この給食の提供というのを今やっているとというような状況で、昔の感覚であればサフランといえば、サフランライスとかそういったイメージが強かったんですけども、今サフランの中で、置かれてる環境とかを調理員も非常に理解が進んでいて、調理のやりがいを自分たちは感じて今やっているとというようにいい報告が調理場の中でもございます。今後、配送等の若干の問題はありますので、今後、今の状況を少しでも改善できるように工夫していきたいというふうに思っております。調理場からは以上でございます。

志賀教育長

はい。では図書館について野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

図書館から、夏休み図書館まつりの件についてお知らせいたします。委員の皆様のお手元に、そのチラシをお配りしております。7月29日(土)、市内の小学生定員30名を対象にして、今回、新たな試みとなりますが夜の時間帯に、映画上映会を開催いたします。上映前には、館内での宝探しと銘打った企画も予定しております。子どもたちが、図書館をより身近に感じるような催しになってほしいと期待をしているところです。図書館からは以上です。

志賀教育長

はい。それでは、皆さんからご意見、質問等ありませんか。
佐藤委員。

佐藤委員

サフランに給食の提供ができるようになったと聞いてとてもうれしく思います。まだ3日と5日今日、2回しか提供されてないということだったのでわからないと思うんですが、調理員さんや、職員の方もいい反応だったということだったんですけど、食べた子どもたちがどういう感想を持ったとか、給食があるからサフランに行こうって思うように、これからも続けて提供して欲しいなと思います。そして子どもさんの意見がもし聞けるようなことがあればまた教えていただきたいなと思います。以上です。

志賀教育長

はい。甲斐場長ありますか。

甲斐給食調理場長

はい。一応今回ですね、5食を送ってますけど、そのうちスタッフが2人と、それから子どもたちの分が3人という形で送っているんですけども、実際2日間、子どもさんは1人食べてると、スタッフは2人という、3人分という形なんで

すけども、スクールソーシャルワーカーのお話では、その1人の子どもさんとかでも、おかわりをされて、非常に食欲もあるというか、そういった向きもあって、非常に喜んでいるというふうなお話は聞いております。今後スクールソーシャルワーカーともお話してはいますが、もう少し給食を食べに行きたいという方もいらっしゃるような話も聞いていますので、給食を食べにでも行きたいという方が少しずつ増えていくのではないかなというふうには思っております。以上でございます。

志賀教育長

不登校傾向の児童生徒が、給食を食べたいので学校に行く、給食を目的に行く、そういった理由であっても、不登校が解消できるなら、それも一つの手段だと思っております。おいしい給食を食べるためにぜひ学校に行きたい、と思ってくれるといいなと思っております。その他ないでしょうか。
それでは最後に、教育委員の皆様からご意見、感想等があれば発言をいただきたいと思っております。甲高委員からお願いします。

甲高委員

はい。今佐藤委員からサフランの件について意見が出ました。私も本当同じ意見で、あと職員の方がセンターの方に、取りに行っていたら、まだ良くなっていくのかなというふうに、ぜひ今後とも努力を続けていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。一つ私の方から質問というか、確認なんです、市のホームページで久住中学校と都野中学校の今後の両方の委員さんの募集っていうのをしたかと思うんですが、財政課から、それが出てるんですけど、教育委員会からとかではなくて、財政課から出たので一応気になって、財政課の方からそういうのは、出すものなのかということを一応確認をしたいのですが、ここです。以上です。

志賀教育長

はい。では質問については後でまとめてお答えをしたいと思います。佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

私の方からは特になんですが、新聞にも載ってたんですけど、タケタカタローの記事があったと思うんですけど、この教育長の「竹田の教育」にも載ってて、大人が聞いてもかなり聞き応えがあったんだろうなというメンバーで、私も聞けたらよかったなとは思っているんですが、子どもたちがこれだけのメンバーの人の話を聞いてどういう反応であったとか、感想であったりとかが少しわかれば教えてください。

志賀教育長

はい。吉野委員お願いします。

吉野委員

中体連の球技と陸上と、少し見せていただきました。感想を言わせてください。通常の大会でエントリーするその選手というか生徒、年々減っているように、見受けられて、少し寂しいような感想を持ちました。強制はできないにしても、もう少しせっかくの貴重な機会なので、陸上競技場を走ることであるとかハードルを飛ぶことであるとか幅跳びや砲丸投げや高跳びなども含めて、いろんな競技に挑戦できる機会を積極的にとらえて欲しいなというふうに思ったので先生の方も指導が大変とは思いますが、地域移行もうまくいきかけているようなので、ぜひ今後、エントリーするようなことに繋がってくれたらいいなという

ふうな感想を持ちました。

それと質問が一つあります。学校行事予定などを見ると、体育大会も無事できましたし、職場体験やミュージックフェスタなどが再開されるようになったこととか、あとプールの授業が正常に行われていること、それから田植えとか、牛舎の見学であったり、いろんな校外活動が積極的に実施されているのは大変喜ばしいことかなと思っています。それに、そこで関連で質問なんですけど。ここ数年、コロナの影響もあってか自粛の対象になりがちであったり、また働き方改革なんかも影響してるのかもしれないですけど、数年前とか10年前とかだったら当たり前聞いてたような登山とか、海水浴、飯ごう炊さん、また泊を伴うような研修の行事の機会が減っているのかなというふうに感じています。今コロナの類型が見直されて、行事も何を戻すか、検討していくにはちょうどいいタイミングなのかなと思うので、生徒にとって有意義な価値のある行事を見直した上で再開していただければありがたいなというふうに思っています。質問は、例えば登山をしようとか、どこかの青年の家のようなところに泊まるような修学旅行以外の泊を伴う研修をしようということに、なるというかそういう要望があるときに、学校裁量でできるものなのか、もしバスで移動するなどの経費がいるようなことがあれば、どこからか出せるのか、あとまた、教育委員会として基本的な方針でそういう校外の活動を奨励するようなことになっているのかどうかその辺のことをお聞きしたいと思います。

志賀教育長

はい。では最後、岡委員お願いします。

岡委員

はい。今委員会から教育委員として関わらせていただくことになりまして、大変身の引き締まる思いがしています。今いろんな資料を拝見しながら日々、竹田市の教育行政の取り組みを勉強してるところでございます。それで1点最近の活動した中で思うことが、先週、久住小学校の授業参観に行ってきたまして、5.6年生のいわゆる総合学習の授業でした。5.6年生が地域の方が働いてる現場を見ながら、そこで発せられた言葉について、どう感じてなぜそう思ったのかということでした。その現場っていうのが前回教育委員の賀籠六さんのちょうど現場であったんですけども、印象だったのがいわゆる今大型の提示装置が教室に置かれていて、各子どもたちがタブレットを使って、自分の意見をその提示装置に表示すると。しかもそのタブレットの使い方もタッチペンで書く人もいればキーボードを叩く人もいるし、画面をなぞる人もいるし、いろんなアクセスの仕方、提示をしてるっていうのがすごく印象的でした。そのあと自分の言葉でも前に出て発表するというところで、後で校長先生がおっしゃられたのは、要は今発信力を鍛えたいんだというようなことで、非常に一貫性のある授業をされてるなど、しかもICTを上手に使ってる、組み立てられた授業を見させていただいて、やはり今の子どもたちですとICTを経由して自分を表現していくっていうのもすごく大事なのかなという気がしています。

1点質問ですが、よくICT支援員の方が学校に入られているという表示を見るんですけど、この方々の活動はどういった方がどういう流れでどう関わっているのかっていうのを少し教えといていただくとありがたいかなと思っています。以上です。

志賀教育長

はい。ありがとうございました。では質問が主に4点、旧久住・都野中の活用、それとタケタカタローの生徒の反応、それから泊を伴う行事等について、それ

からICT支援員についてということで、関係の課から回答をお願いします。
はい。野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

まず甲高委員からのご質問でございますが、久住中・都野中の跡地活用の件です。現在教育財産、行政財産であります。今後普通財産に移行していくわけなんですけれども、こういった学校の跡地も含めた市有地の遊休地といいますか、そういった部分の活用については、財政課に今年度新たに財産活用推進室という室ができました。そこを中心に庁内横断的に活用の検討をしようとして、そういったところでございます。特に今回の久住中・都野中の跡地につきましては今後、委員がおっしゃいましたように学校跡地検討委員会という組織を、それぞれの学校に設置をする予定であります。その委員さんをそれぞれ学校校区ごとに、自治会長さんでありますとか学校関係者或いは地域の他の産業の農業等ですね、いろんな分野から公募をして、また推薦依頼の通知を出して、委員会の立ち上げをするというところでございます。その中心事務局は財政課が担っているというところでございますが、我々教育委員会、或いは他の課でも関係する課については、庁内横断的にスタッフで一つの班を作って、例えば企業誘致をする場合に製造業が来る場合には製造班とか、そういった横の繋がりを作って、検討していくような体制をとっているところでございます。続けてよろしいでしょうか。岡委員からの質問、ICT支援員の件でお尋ねがありました。教育総務課にはICT支援員が2名おります。1名は、会計年度任用職員でありますけど、荻の穴見佳苗さんという方、それからOECに委託をして、1名常勤で来ていただいておりますけど、荒木さんという方がそれぞれ教育総務課に所属しておりますが、担当が片山という職員が1人おります。3名で、そういったICTの支援をしているところでありますけども、特にICT支援員の2名につきましては定期的に、各学校を回って、先生方の授業のサポートでありますとか、時にはその研修、先生方を対象にした研修でありますとか、機器の使い方のサポート、そういった部分を中心に、定期的に行っていますし、随時、先生方から要求があれば出向いてサポート、支援をしていると、そういった状況にあります。私の関係は以上です。

志賀教育長

はい。続いて、タケタカタローと学校行事について、学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。タケタカタローのプロジェクトの会については、1時間半だったんですが、1時間半じゃもったいないなあと思うような、パネラーばかりで、それぞれの学校で、子どもたちの感想の中にも、第2弾を期待しますみたいな感想があったので、この後はそれぞれの学校で、お声掛けいただくといいなという話を課内ではしております。教育長のお便りの中にもあるんですが、それぞれの方がそれぞれの立場で竹田との関わりを、それから竹田への思いを語ってくださいました。例えば氏田さんは、大人になって竹田に帰ってきた時、週末の竹田の町が寂しくて、ここを何とかしようと思って、竹田で居酒屋さんをオープンしたっていう話だとか、奥さんに関しては、なぜ竹田でっていう質問に対して竹田市の市役所の職員の方がとても対応が良くて、それが決め手になりましたっていうような話をしてくださったりだとか、赤峰さんという方は、お母さんの立場で活動されてるということで、お母さんの立場でのお話をしてくださったり、多分それぞれの子どもたちがそれぞれに、同じ響きじゃなくてそれぞれの方の話が、今の自分に一番ヒットする言葉だとか、ヒットする内容を受け取

ってくれたんだなっていうのが感想の中から、とても伝わりました。この後、各学校がどんな第2弾をしてくれるかなと思って楽しみにしています。続いて学校行事に関しては、竹田市教育委員会としては、これまで通りというか、コロナ禍以前のように、学校の目的とその内容を加味して、効果があるものに関してはやってくださいというスタンスです。移動のバスとかは基本スクールバスを使っていただくようにはしています。1点、あ祖母学舎を使って、5.6年生の宿泊の催しを竹田市教育委員会として行っていたのですが、今年度も一応予算をつけたのですが、受け入れる側がちょっとまだコロナ禍開けて準備ができていないということで、残念ながらそこは今年取り組むことができませんでした。ただ、学校からは、親子キャンプを学校でしたいというようなご要望も上がってますので、どうぞ学校の目的に沿って開催されてくださいということで、こちらの方からはお答えしています。

志賀教育長

はい。それぞれ答えがありました。委員の皆様、よろしいでしょうか。他にないですか。

質問ではないということですがけれども吉野委員からありました中体連、特に陸上競技大会について、非常に寂しいエントリー状況だったということです。確かに、以前とはエントリー数も変わってきていますが、やはり、体力向上を考えると、たくさんの生徒に参加して欲しいという願いがあります。前回お知らせしましたが、5月の終わりにトライアルフェスタという陸上教室と記録会を実施しました。例えば少年少女の駅伝ロードレースでは、もうすでに駅伝の部ができなくなっています。チームが組めないということで、大会自体もこれから縮小したり、あるいはなくなる大会もあるでしょうけれども、新たにトライアルフェスタを開催したりしています。それには九電工の大塚翔平選手が来ました。知らない人も多いかもしれませんが、東京オリンピックのマラソンの補欠、つまり日本で4番目の選手なんですね。そんな人も来て、直接指導してください。そういった行事に、たくさんの参加者が欲しいなというふうに思っています。主催者の告知もまだまだ足りませんが、竹田市からの参加者が少なく、三重中は喜んで来ました。そういったこともありますので、参加者を増やしたいと思います。

それからタケタカタローについてです。チャンピオンとか社長とか目立つ人というか、そういう人でないとだめではなくて、その趣旨は、竹田に根づいて地道に情熱を持って何かに取り組んでいる人、地域のために活動している方を「ようこそ先輩」でお呼びして、人との出会いこそがキャリア教育、といった視点でやっていきたいということです。ですから今後、各学校で、同じような方々を呼んでもいいし、その他、いろいろな職種、頑張っておられる方を呼んで、人と出会って、竹田の人のすばらしさや、竹田がそういう人たちを育ててきたということを知ってほしいのです。竹田愛を深めた、と思っているところです。その他ないでしょうか。

それでは以上で定例会を閉会します。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後3時57分]